

## 4 これからの時代への対応について

### (1) 現在の社会や今後の社会の変化で関心を持っているもの

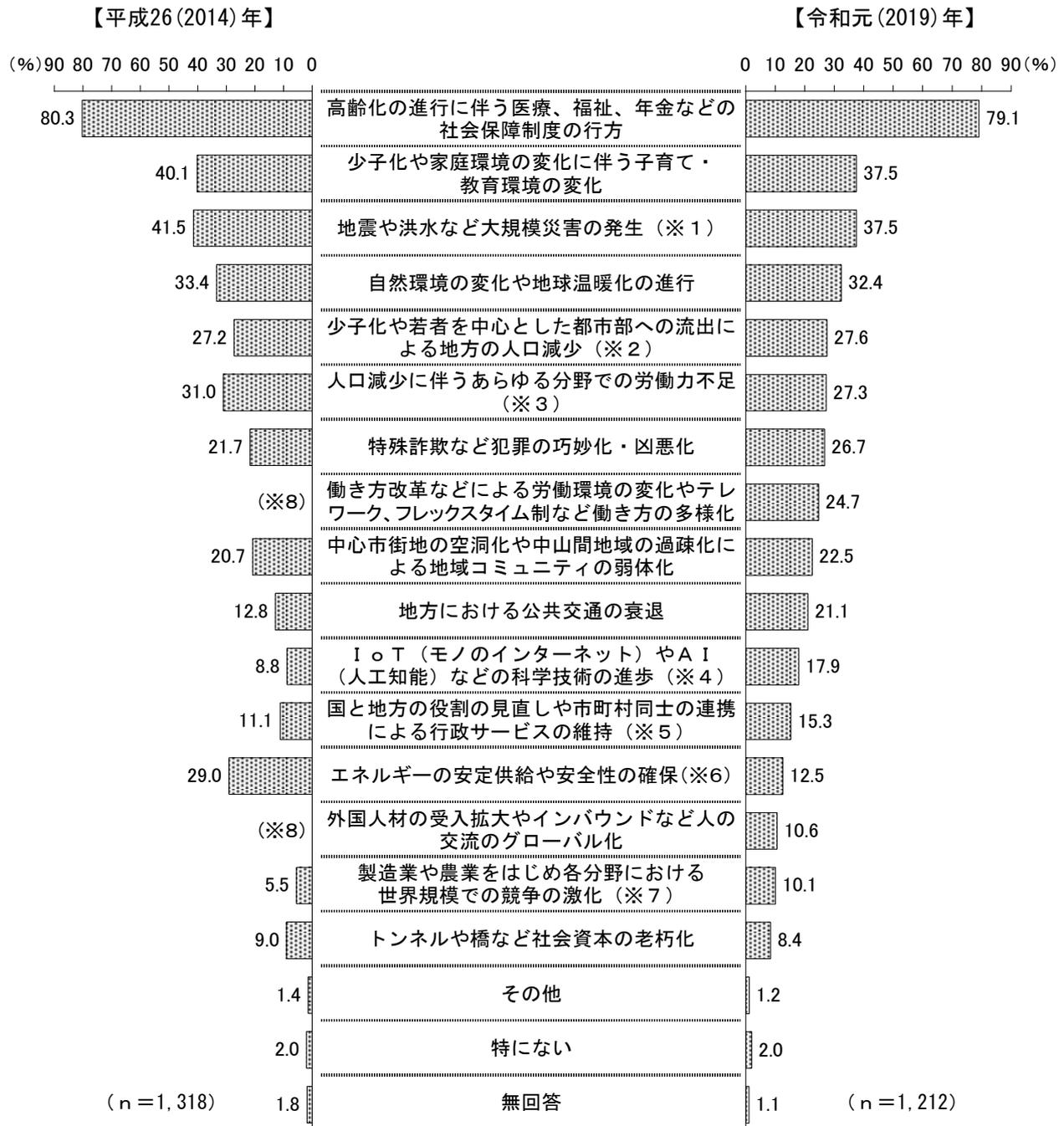
問10 あなたは、現在の社会や今後予想される社会の変化のうち、何に関心や懸念を持っていますか。次の中から5つまで選んでください。

[n=1,212]

1	少子化や家庭環境の変化に伴う子育て・教育環境の変化	37.5%
2	少子化や若者を中心とした都市部への流出による地方の人口減少	27.6
3	中心市街地の空洞化や中山間地域の過疎化による地域コミュニティの弱体化	22.5
4	高齢化の進行に伴う医療、福祉、年金などの社会保障制度の行方	79.1
5	製造業や農業をはじめ各分野における世界規模での競争の激化	10.1
6	外国人材の受入拡大やインバウンドなど人の交流のグローバル化	10.6
7	I o T (モノのインターネット) やA I (人工知能) などの科学技術の進歩	17.9
8	働き方改革などによる労働環境の変化やテレワーク、フレックスタイム制など働き方の多様化	24.7
9	人口減少に伴うあらゆる分野での労働力不足	27.3
10	エネルギーの安定供給や安全性の確保	12.5
11	地方における公共交通の衰退	21.1
12	トンネルや橋など社会資本の老朽化	8.4
13	地震や洪水など大規模災害の発生	37.5
14	特殊詐欺など犯罪の巧妙化・凶悪化	26.7
15	自然環境の変化や地球温暖化の進行	32.4
16	国と地方の役割の見直しや市町村同士の連携による行政サービスの維持	15.3
17	その他	1.2
18	特になし	2.0
	(無回答)	1.1

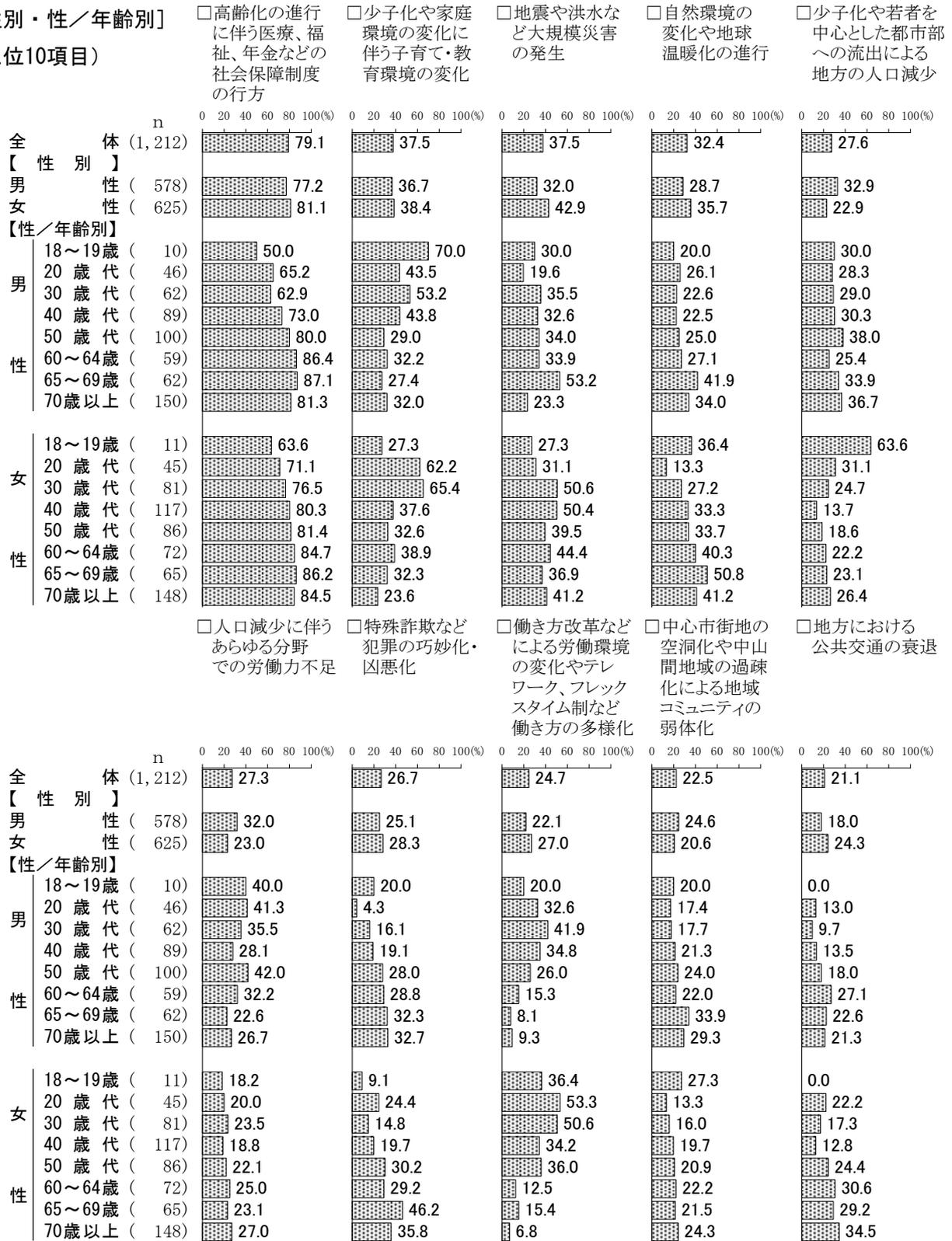
全体で見ると、「高齢化の進行に伴う医療、福祉、年金などの社会保障制度の行方」(79.1%)がほぼ8割で最も高く、次いで「少子化や家庭環境の変化に伴う子育て・教育環境の変化」(37.5%)、「地震や洪水など大規模災害の発生」(37.5%)、「自然環境の変化や地球温暖化の進行」(32.4%)、「少子化や若者を中心とした都市部への流出による地方の人口減少」(27.6%)、「人口減少に伴うあらゆる分野での労働力不足」(27.3%)の順となっている。

平成26(2014)年の調査結果との比較は、選択肢の文言の変更・追加があるため参考にとどまるが、「高齢化の進行に伴う医療、福祉、年金などの社会保障制度の行方」が最も高く、次いで「少子化や家庭環境の変化に伴う子育て・教育環境の変化」と「地震や洪水など大規模災害の発生」の2項目が2位または3位となっている傾向に変化はみられない。



- (※1) 「地震や洪水など大規模災害の発生」は、平成26(2014)年調査では「地震など大規模災害の発生」としていた。
- (※2) 「少子化や若者を中心とした都市部への流出による地方の人口減少」は、平成26(2014)年調査では「少子化や若者の都市部への流出による地方の人口の減少」としていた。
- (※3) 「人口減少に伴うあらゆる分野での労働力不足」は、平成26(2014)年調査では「高齢化の進行に伴う働き手の減少」としていた。
- (※4) 「I o T (モノのインターネット) やA I (人工知能) などの科学技術の進歩」は、平成26(2014)年調査では「インターネットなど、ネットワーク化の進展や情報通信分野における技術革新」としていた。
- (※5) 「国と地方の役割の見直しや市町村同士の連携による行政サービスの維持」は、平成26(2014)年調査では「地方分権改革など、国と地方の行政の仕組みの見直し」としていた。
- (※6) 「エネルギーの安定供給や安全性の確保」は、平成26(2014)年調査では「電気やエネルギーの安定供給や安全性の確保」としていた。
- (※7) 「製造業や農業をはじめ各分野における世界規模での競争の激化」は、平成26(2014)年調査では「世界規模での人の交流や産業分野の競争の激化」としていた。
- (※8) 「働き方改革などによる労働環境の変化やテレワーク、フレックスタイム制など働き方の多様化」と「外国人材の受入拡大やインバウンドなど人の交流のグローバル化」は、今回調査で追加した選択肢である。

[性別・性／年齢別]  
(上位10項目)

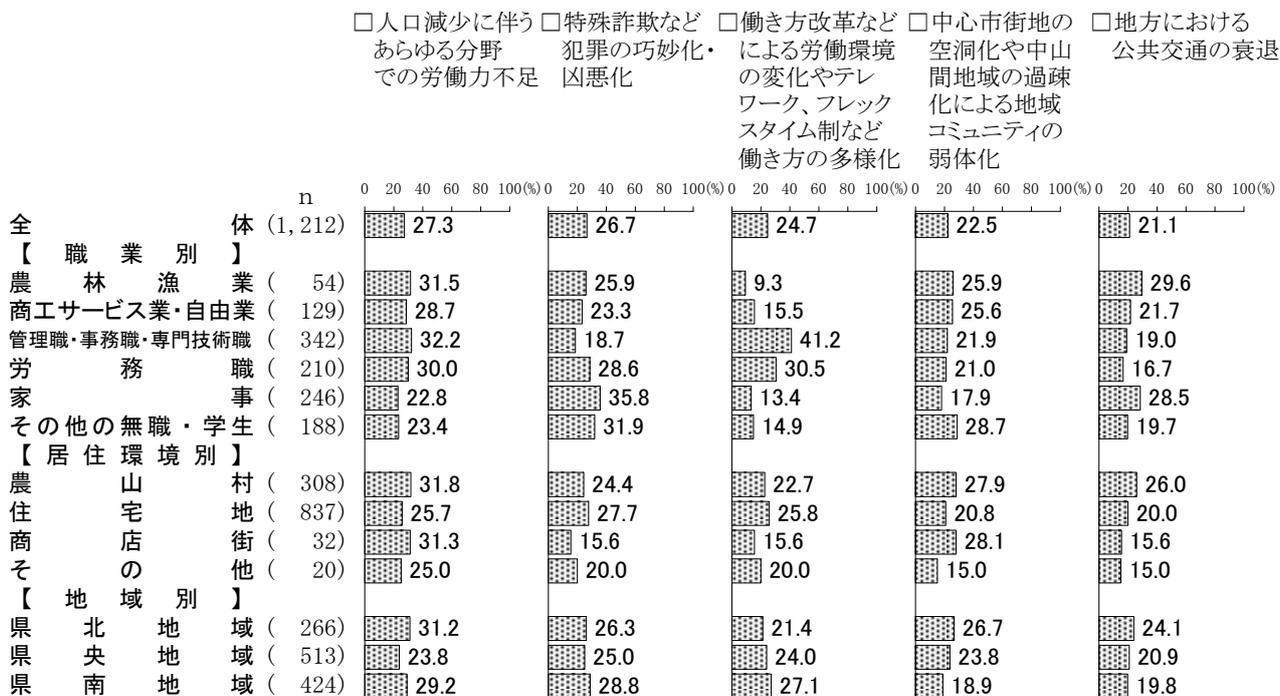
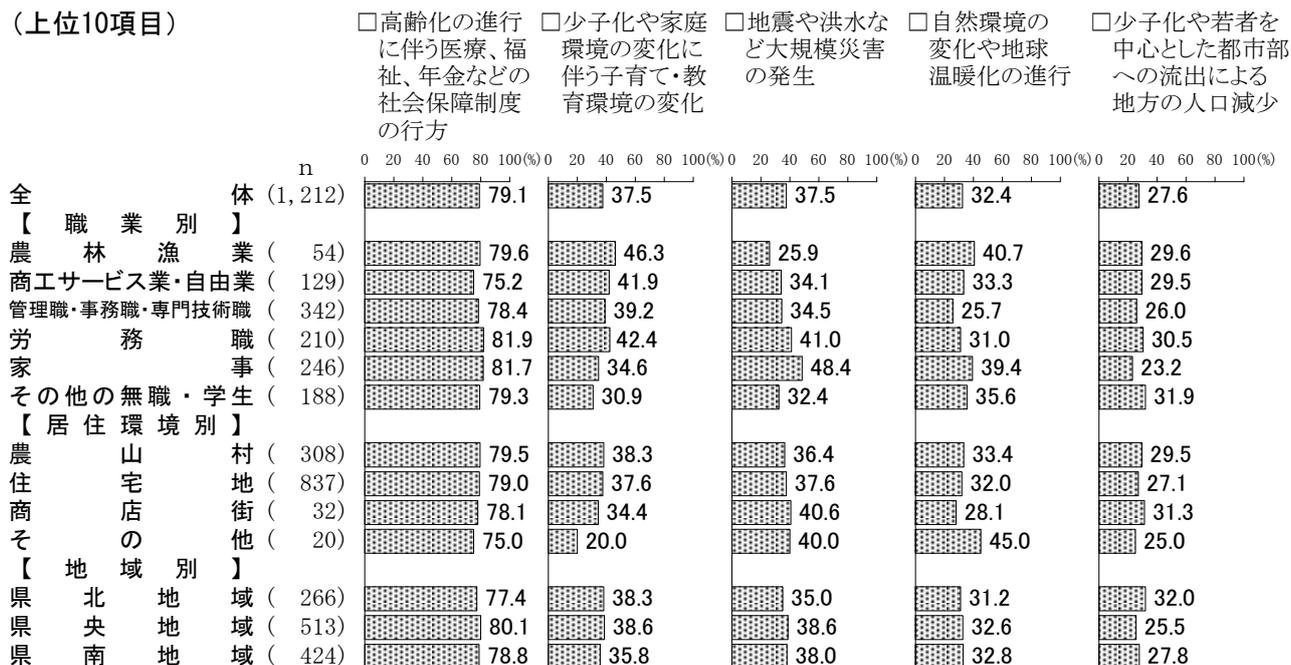


性別で見ると、「地震や洪水など大規模災害の発生」では〈女性〉(42.9%)が〈男性〉(32.0%)より10.9ポイント高くなっている。「少子化や若者を中心とした都市部への流出による地方の人口減少」では〈男性〉(32.9%)が〈女性〉(22.9%)より10.0ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「少子化や家庭環境の変化に伴う子育て・教育環境の変化」では〈女性30歳代〉が65.4%、〈女性20歳代〉が62.2%と高くなっている。「地震や洪水など大規模災害の発生」では〈男性65～69歳〉が53.2%と高くなっている。「自然環境の変化や地球温暖化の進行」では〈女性65～69歳〉が50.8%と高くなっている。「働き方改革などによる労働環境の変化やテレワーク、フレックスタイム制など働き方の多様化」では〈女性20歳代〉が53.3%、〈女性30歳代〉が50.6%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]

(上位10項目)



職業別でみると、「少子化や家庭環境の変化に伴う子育て・教育環境の変化」では〈農林漁業〉が46.3%と高くなっている。「地震や洪水など大規模災害の発生」では〈家事〉が48.4%と高くなっている。「働き方改革などによる労働環境の変化やテレワーク、フレックスタイム制など働き方の多様化」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が41.2%と高くなっている。

居住環境別でみると、「地震や洪水など大規模災害の発生」では〈商店街〉が40.6%と高くなっている。「地方における公共交通の衰退」では〈農山村〉が26.0%と高くなっている。

地域別でみると、「少子化や若者を中心とした都市部への流出による地方の人口減少」では〈県北地域〉が32.0%と高くなっている。「働き方改革などによる労働環境の変化やテレワーク、フレックスタイム制など働き方の多様化」では〈県南地域〉が27.1%と高くなっている。

## (2) 「豊かさ」のイメージ

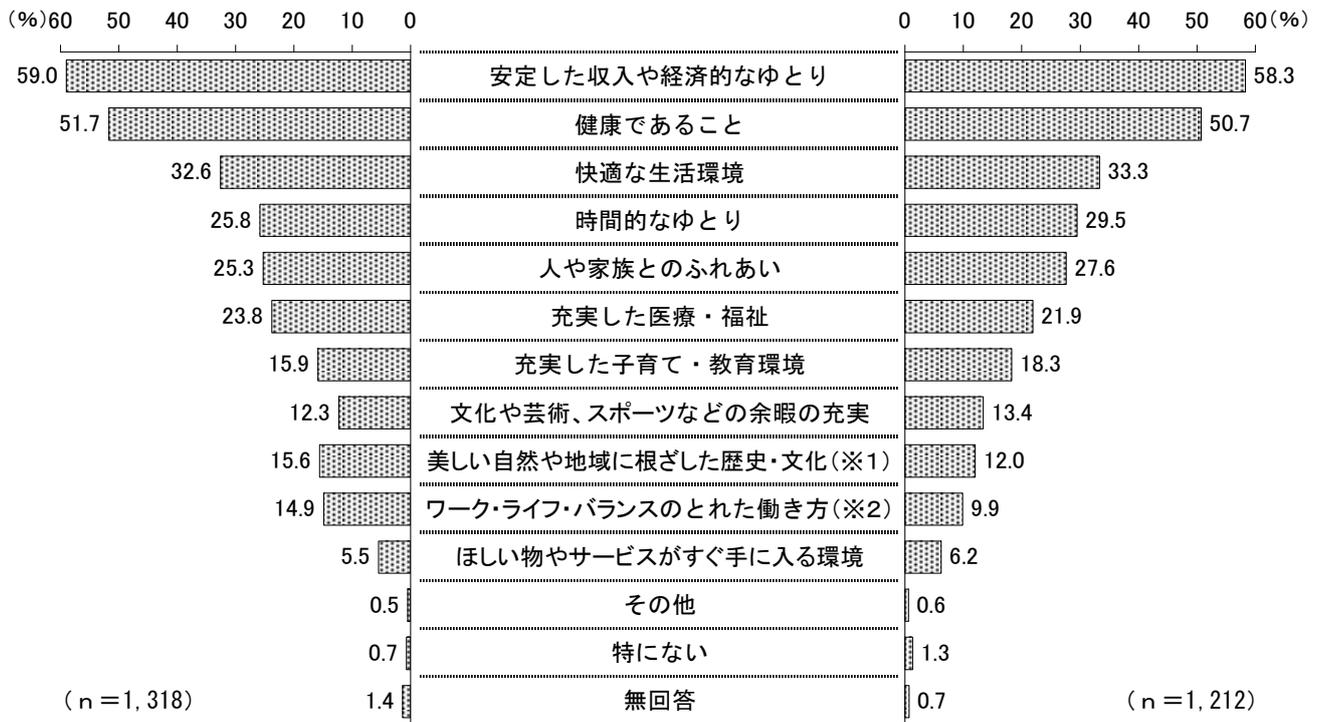
問11 あなたは、「豊かさ」という言葉から、どのようなことをイメージしますか。次の中から3つまで選んでください。

[n=1,212]

1	充実した子育て・教育環境	18.3%	9	ほしい物やサービスがすぐ手に入る環境	6.2%
2	文化や芸術、スポーツなどの余暇の充実	13.4	10	快適な生活環境	33.3
3	時間的なゆとり	29.5	11	美しい自然や地域に根ざした歴史・文化	12.0
4	人や家族とのふれあい	27.6	12	その他	0.6
5	健康であること	50.7	13	特にない	1.3
6	充実した医療・福祉	21.9		(無回答)	0.7
7	安定した収入や経済的なゆとり	58.3			
8	ワーク・ライフ・バランスのとれた働き方	9.9			

【平成26(2014)年】

【令和元(2019)年】



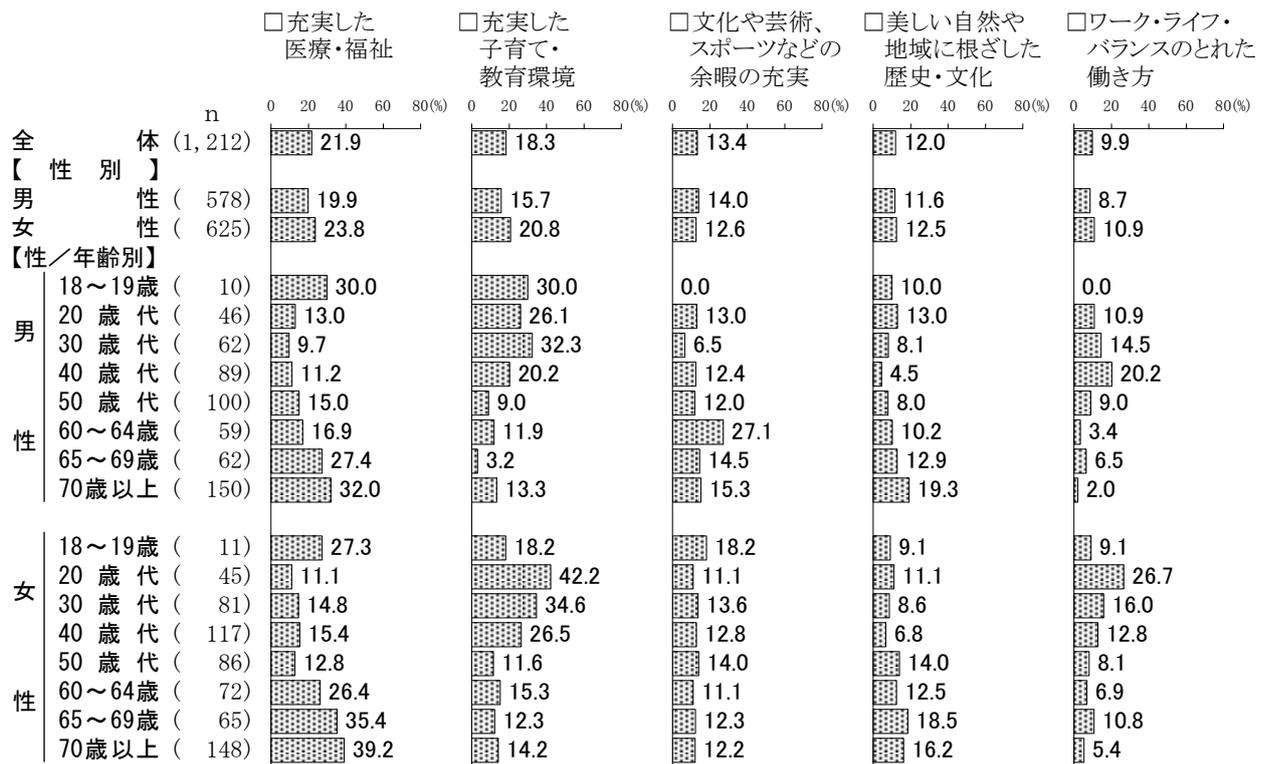
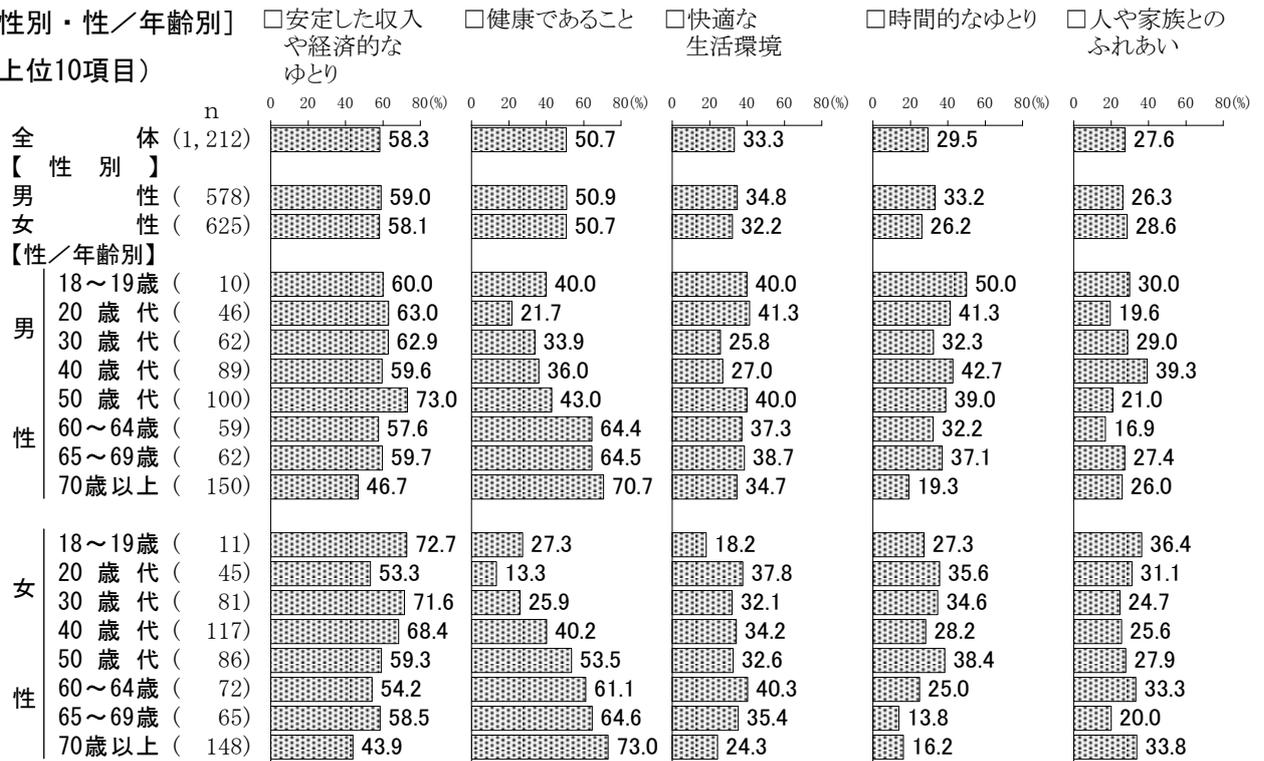
(※1) 「美しい自然や地域に根ざした歴史・文化」は、平成26(2014)年調査では「豊かな自然」としていた。

(※2) 「ワーク・ライフ・バランスのとれた働き方」は、平成26(2014)年調査では「生きがいを感じられる多様な雇用環境」としていた。

全体で見ると、「安定した収入や経済的なゆとり」(58.3%)が6割近くで最も高く、次いで「健康であること」(50.7%)、「快適な生活環境」(33.3%)、「時間的なゆとり」(29.5%)、「人や家族とのふれあい」(27.6%)の順となっている。

平成26(2014)年の調査結果との比較は、選択肢の文言の変更があるため参考にとどまるが、「時間的なゆとり」が3.7ポイント増加している。

[性別・性／年齢別]  
(上位10項目)

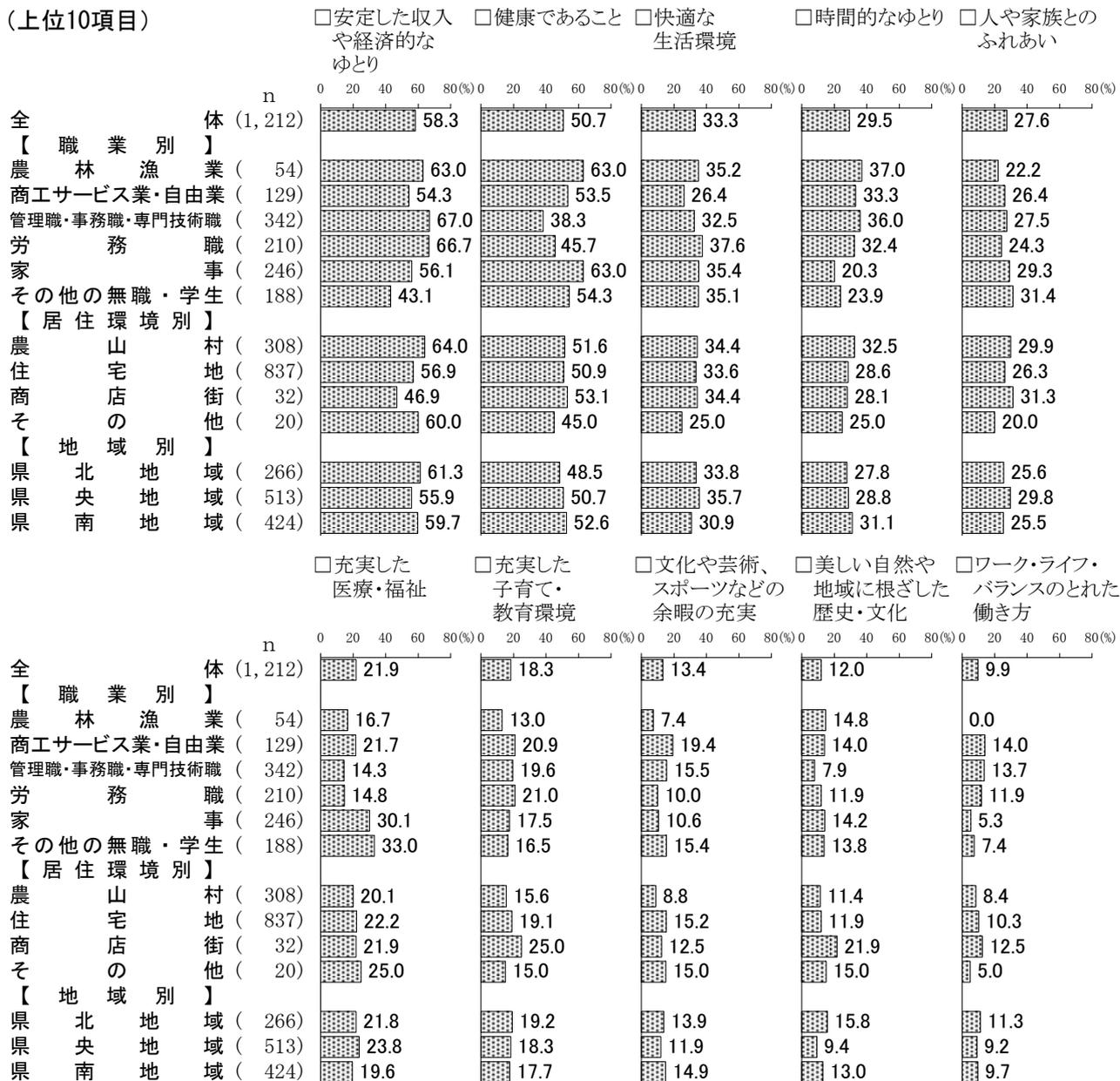


性別で見ると、「時間的なゆとり」では〈男性〉(33.2%)が〈女性〉(26.2%)より7.0ポイント高くなっている。「充実した子育て・教育環境」では〈女性〉(20.8%)が〈男性〉(15.7%)より5.1ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「安定した収入や経済的なゆとり」では〈男性50歳代〉が73.0%、〈女性30歳代〉が71.6%と高くなっている。「健康であること」では〈女性70歳以上〉が73.0%、〈男性70歳以上〉が70.7%と高くなっている。「時間的なゆとり」では〈男性40歳代〉が42.7%、〈男性20歳代〉が41.3%と高くなっている。「充実した医療・福祉」では〈女性70歳以上〉が39.2%、〈女性65～69歳〉が35.4%と高くなっている。「充実した子育て・教育環境」では〈女性20歳代〉が42.2%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]

(上位10項目)



職業別でみると、「安定した収入や経済的なゆとり」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が67.0%、〈労務職〉が66.7%と高くなっている。「健康であること」では〈農林漁業〉と〈家事〉がともに63.0%と高くなっている。「充実した医療・福祉」では〈その他の無職・学生〉が33.0%、〈家事〉が30.1%と高くなっている。

居住環境別でみると、「安定した収入や経済的なゆとり」では〈農山村〉が64.0%と高くなっている。「充実した子育て・教育環境」では〈商店街〉が25.0%と高くなっている。「美しい自然や地域に根ざした歴史・文化」では〈商店街〉が21.9%と高くなっている。

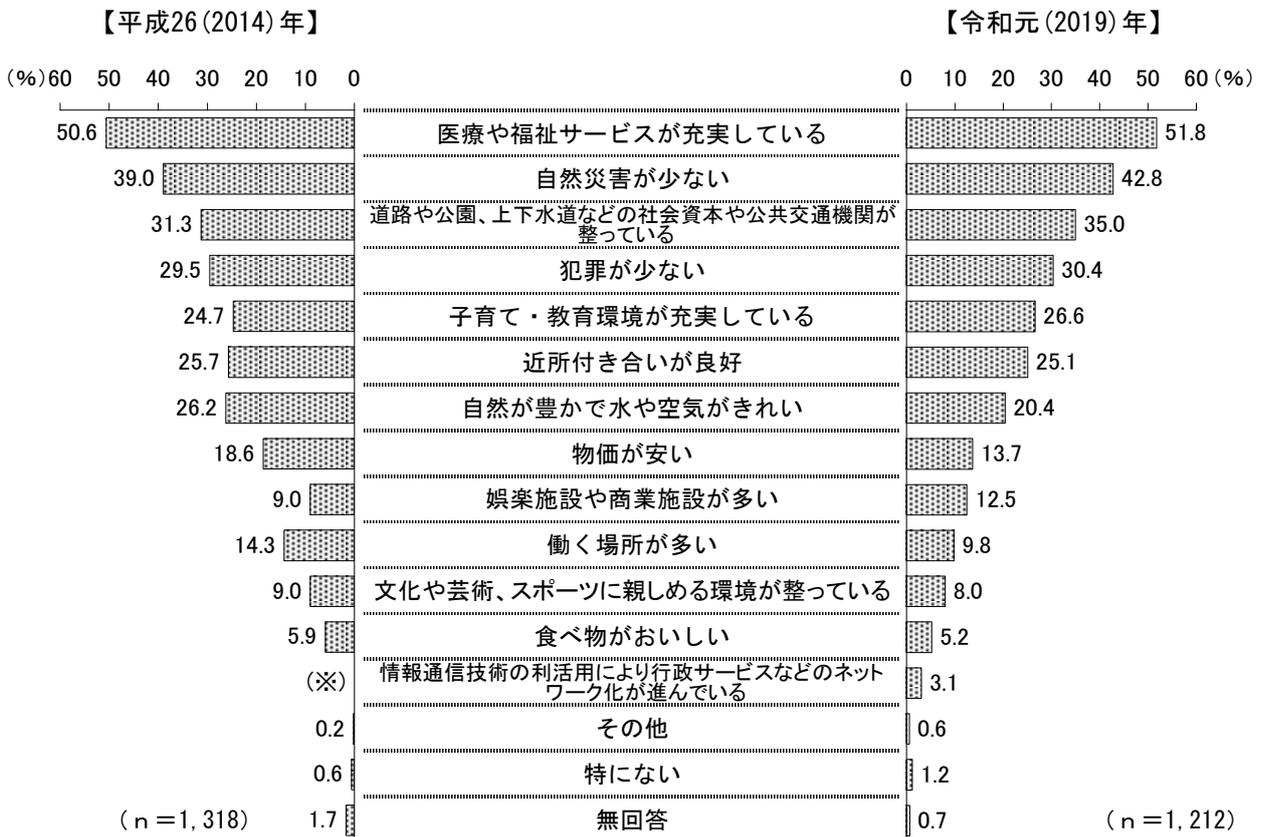
地域別でみると、「人や家族とのふれあい」では〈県央地域〉が29.8%と高くなっている。

### (3) 「住みやすさ」のイメージ

問12 あなたは、「住みやすさ」という言葉から、どのようなことをイメージしますか。  
次の中から3つまで選んでください。

[n=1,212]

1	子育て・教育環境が充実している	26.6%	8	働く場所が多い	9.8%
2	近所付き合いが良好	25.1	9	道路や公園、上下水道などの社会資本や公共交通機関が整っている	35.0
3	文化や芸術、スポーツに親しめる環境が整っている	8.0	10	自然災害が少ない	42.8
4	医療や福祉サービスが充実している	51.8	11	犯罪が少ない	30.4
5	食べ物がおいしい	5.2	12	物価が安い	13.7
6	情報通信技術の利活用により行政サービスなどのネットワーク化が進んでいる	3.1	13	自然が豊かで水や空気がきれい	20.4
7	娯楽施設や商業施設が多い	12.5	14	その他	0.6
			15	特にない	1.2
				(無回答)	0.7

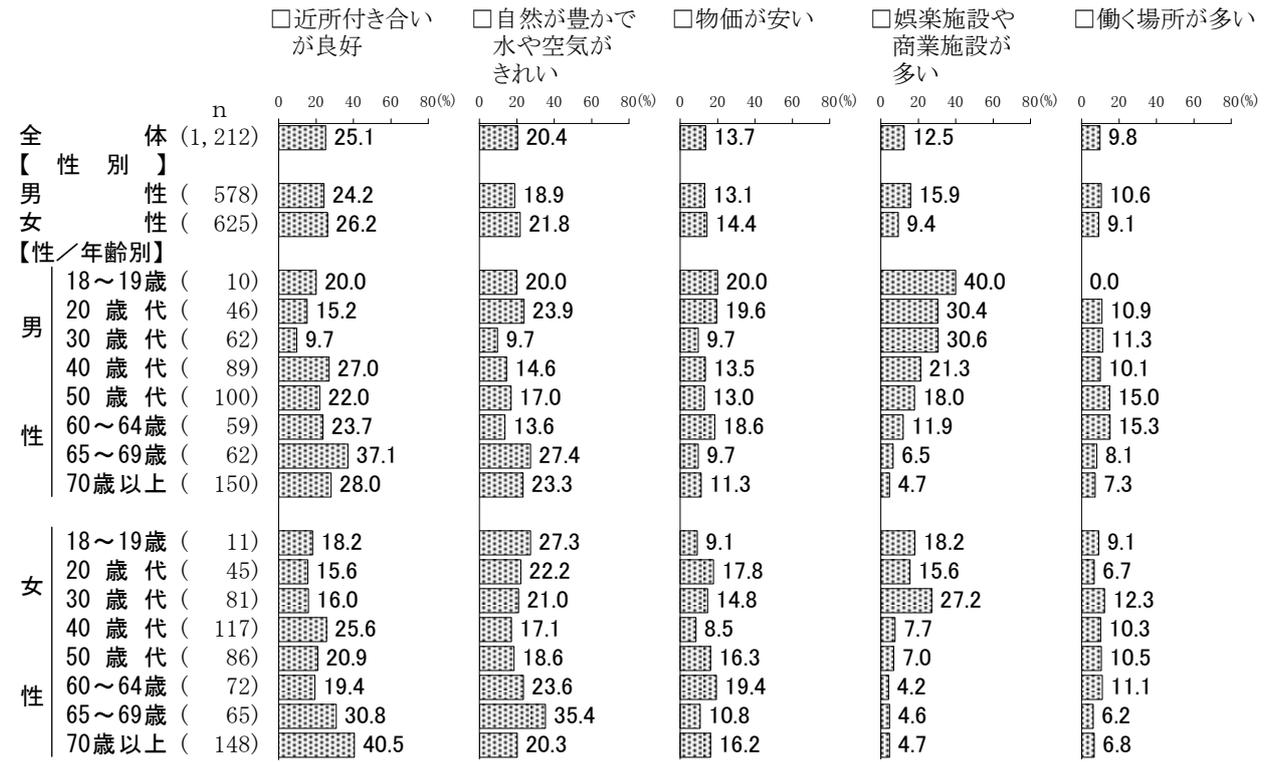
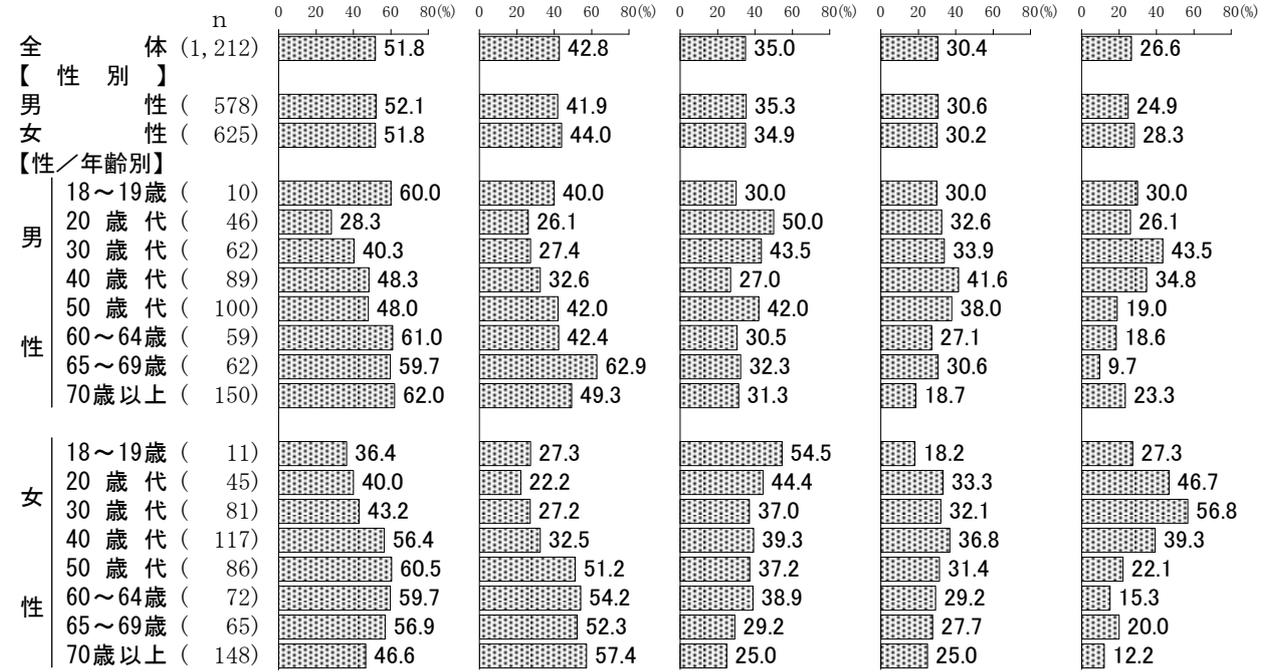


(※) 「情報通信技術の利活用により行政サービスなどのネットワーク化が進んでいる」は、今回調査で追加した選択肢である。

全体でみると、「医療や福祉サービスが充実している」(51.8%)が5割を超えて最も高く、次いで「自然災害が少ない」(42.8%)、「道路や公園、上下水道などの社会資本や公共交通機関が整っている」(35.0%)、「犯罪が少ない」(30.4%)、「子育て・教育環境が充実している」(26.6%)の順となっている。

平成26(2014)年の調査結果との比較は、選択肢の追加があるため参考にとどまるが、「自然が豊かで水や空気がきれい」が5.8ポイント、「物価が安い」が4.9ポイント、「働く場所が多い」が4.5ポイント、それぞれ減少している。

【性別・性／年齢別】 □医療や福祉サービスが充実している □自然災害が少ない □道路や公園、上下水道などの社会資本や公共交通機関が整っている □犯罪が少ない □子育て・教育環境が充実している  
 (上位10項目)

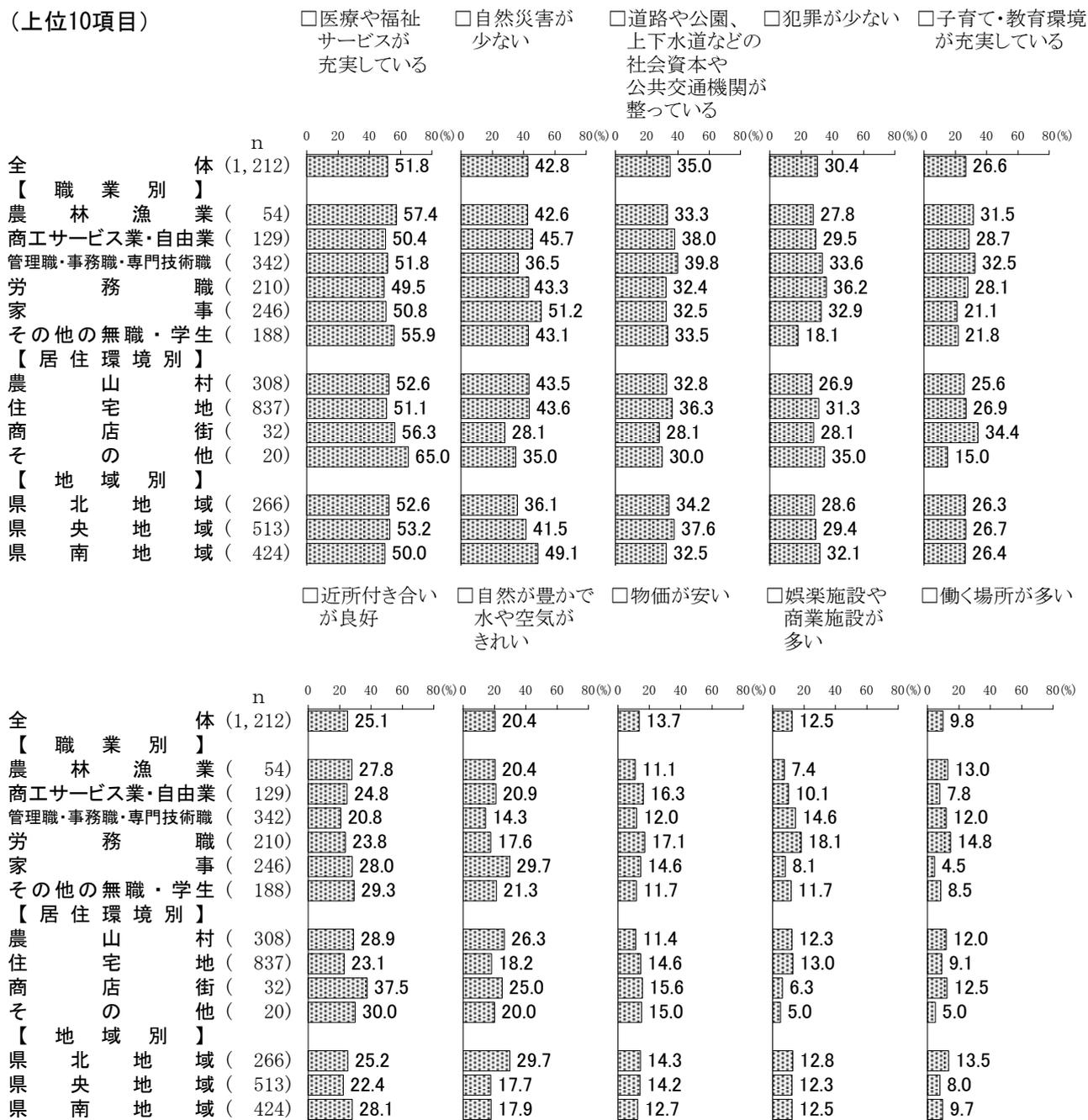


性別でみると、「娯楽施設や商業施設が多い」では〈男性〉(15.9%)が〈女性〉(9.4%)より6.5ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「自然災害が少ない」では〈男性65～69歳〉が62.9%、〈女性70歳以上〉が57.4%と高くなっている。「道路や公園、上下水道などの社会資本や公共交通機関が整っている」では〈男性20歳代〉が50.0%と高くなっている。「子育て・教育環境が充実している」では〈女性30歳代〉が56.8%、〈女性20歳代〉が46.7%と高くなっている。「近所付き合いが良好」では〈女性70歳以上〉が40.5%、〈男性65～69歳〉が37.1%と高くなっている。「娯楽施設や商業施設が多い」では〈男性30歳代〉が30.6%、〈男性20歳代〉が30.4%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]

(上位10項目)



職業別でみると、「自然災害が少ない」では〈家事〉が51.2%と高くなっている。「道路や公園、上下水道などの社会資本や公共交通機関が整っている」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が39.8%、〈商工サービス業・自由業〉が38.0%と高くなっている。「自然が豊かで水や空気がきれい」では〈家事〉が29.7%と高くなっている。

居住環境別でみると、「道路や公園、上下水道などの社会資本や公共交通機関が整っている」では〈住宅地〉が36.3%と高くなっている。「子育て・教育環境が充実している」では〈商店街〉が34.4%と高くなっている。「近所付き合いが良好」では〈商店街〉が37.5%と高くなっている。

地域別でみると、「自然災害が少ない」では〈県南地域〉が49.1%と高くなっている。「自然が豊かで水や空気がきれい」では〈県北地域〉が29.7%と高くなっている。

#### (4) これからのとちぎづくりのために必要なこと

問13 あなたは、これからのとちぎづくりのためには、どのようなことが必要だと思いますか。  
次の中から5つまで選んでください。

[n=1,212]

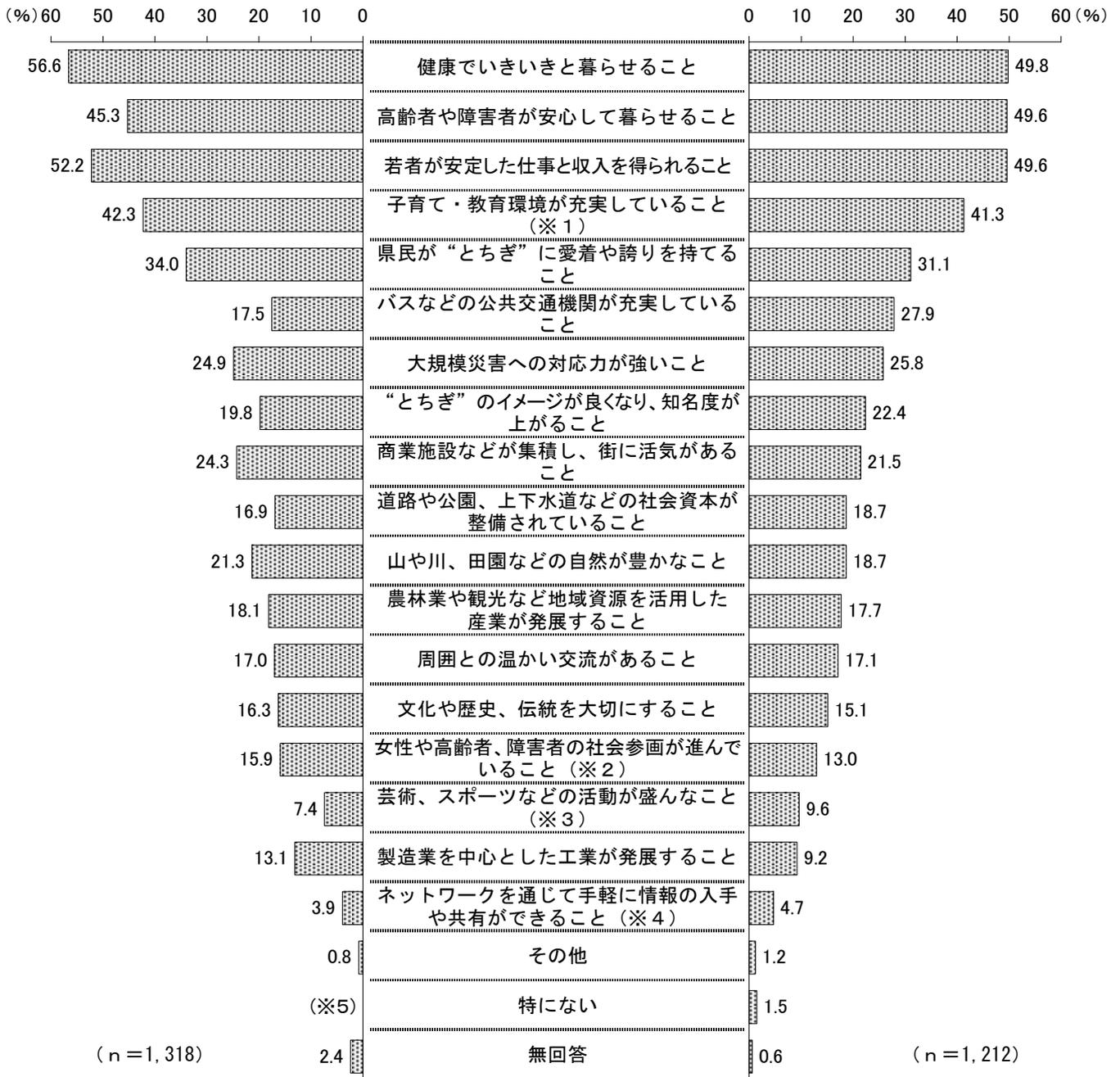
1	子育て・教育環境が充実していること	41.3%
2	“とちぎ”のイメージが良くなり、知名度が上がること	22.4
3	県民が“とちぎ”に愛着や誇りを持つこと	31.1
4	周囲との温かい交流があること	17.1
5	文化や歴史、伝統を大切にすること	15.1
6	芸術、スポーツなどの活動が盛んなこと	9.6
7	健康でいきいきと暮らせること	49.8
8	高齢者や障害者が安心して暮らせること	49.6
9	商業施設などが集積し、街に活気があること	21.5
10	製造業を中心とした工業が発展すること	9.2
11	農林業や観光など地域資源を活用した産業が発展すること	17.7
12	若者が安定した仕事と収入を得られること	49.6
13	女性や高齢者、障害者の社会参画が進んでいること	13.0
14	バスなどの公共交通機関が充実していること	27.9
15	道路や公園、上下水道などの社会資本が整備されていること	18.7
16	ネットワークを通じて手軽に情報の入手や共有ができること	4.7
17	大規模災害への対応力が強いこと	25.8
18	山や川、田園などの自然が豊かなこと	18.7
19	その他	1.2
20	特になし	1.5
	(無回答)	0.6

全体で見ると、「健康でいきいきと暮らせること」(49.8%)、「高齢者や障害者が安心して暮らせること」(49.6%)、「若者が安定した仕事と収入を得られること」(49.6%)の3つがいずれも5割で高く、次いで「子育て・教育環境が充実していること」(41.3%)、「県民が“とちぎ”に愛着や誇りを持つこと」(31.1%)の順となっている。

平成26(2014)年の調査結果との比較は、選択肢の文言の変更・追加があるため参考にとどまるが、「バスなどの公共交通機関が充実していること」が10.4ポイント、「高齢者や障害者が安心して暮らせること」が4.3ポイント、それぞれ増加している。一方、「健康でいきいきと暮らせること」が6.8ポイント、「製造業を中心とした工業が発展すること」が3.9ポイント、それぞれ減少している。

【平成26(2014)年】

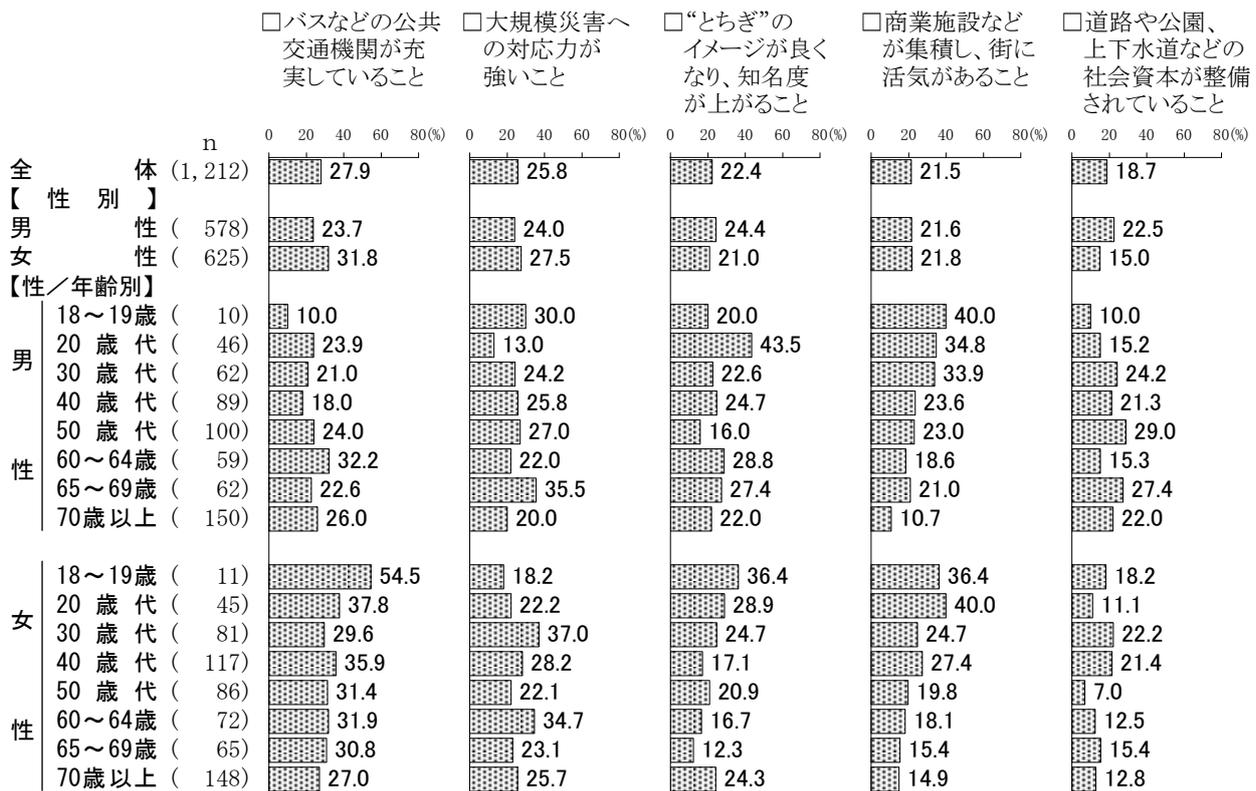
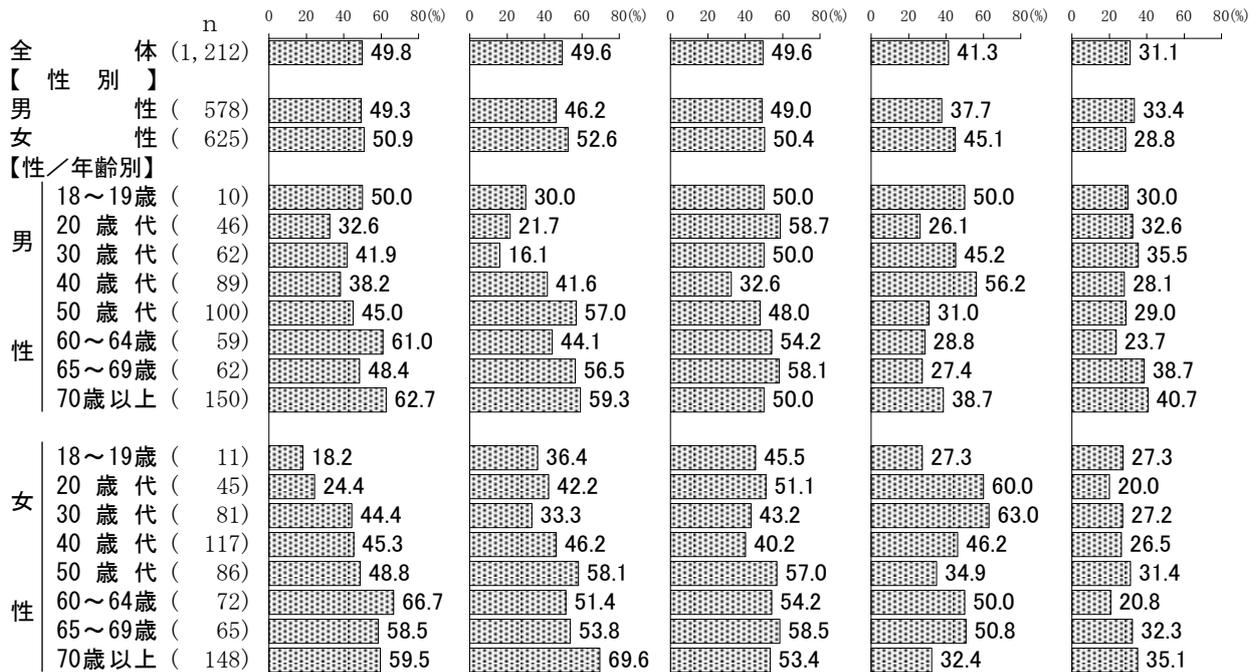
【令和元(2019)年】



- (※1) 「子育て・教育環境が充実していること」は、平成26(2014)年調査では「子育て・教育環境が整っていること」としていた。
- (※2) 「女性や高齢者、障害者の社会参画が進んでいること」は、平成26(2014)年調査では「女性や高齢者が能力を發揮できること」としていた。
- (※3) 「芸術、スポーツなどの活動が盛んなこと」は、平成26(2014)年調査では「スポーツやレクリエーションの場が充実していること」としていた。
- (※4) 「ネットワークを通じて手軽に情報の入手や共有ができること」は、平成26(2014)年調査では「様々な情報を手軽に入手できること」としていた。
- (※5) 「特にない」は、今回調査で追加した選択肢である。

【性別・性／年齢別】 (上位10項目)

□健康でいきいきと暮らせること □高齢者や障害者が安心して暮らせること □若者が安定した仕事と収入を得られること □子育て・教育環境が充実していること □県民が“とちぎ”に愛着や誇りを持っていること

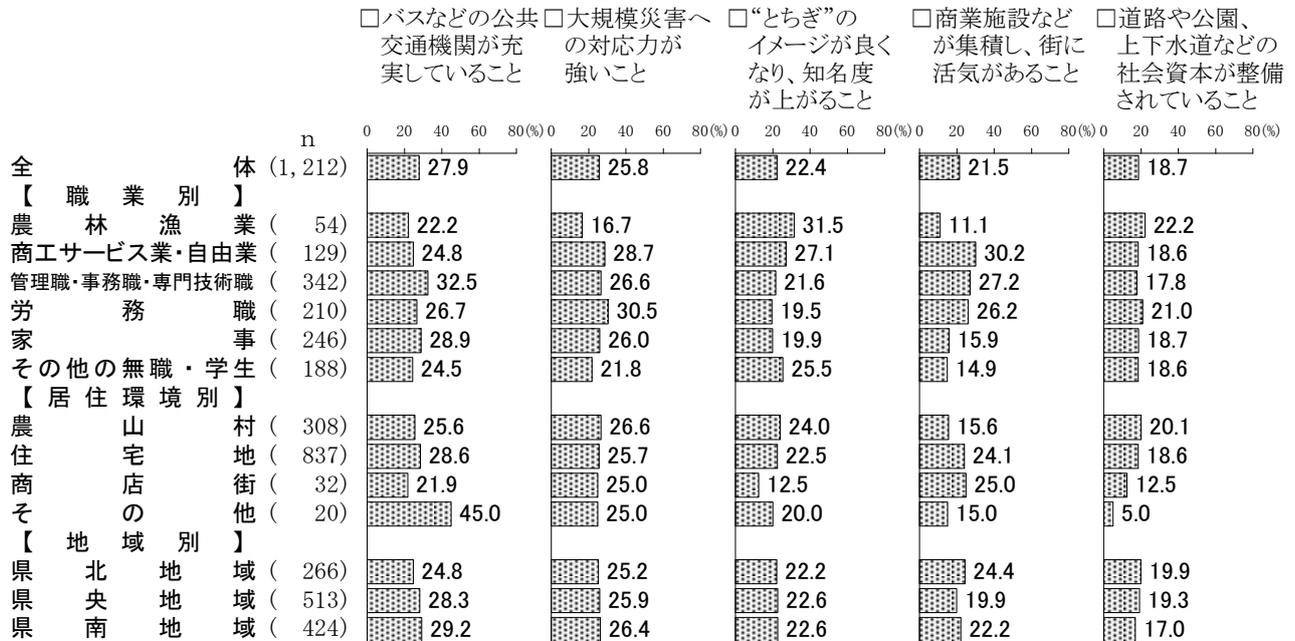
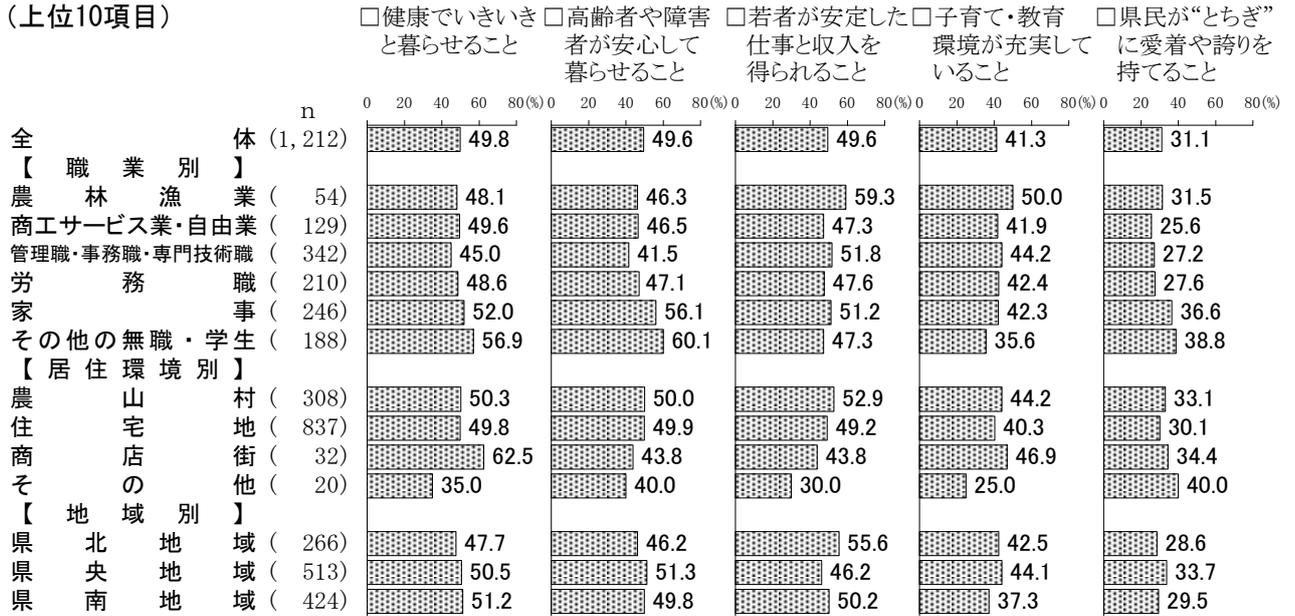


性別でみると、「バスなどの公共交通機関が充実していること」では〈女性〉(31.8%)が〈男性〉(23.7%)より8.1ポイント高くなっている。「道路や公園、上下水道などの社会資本が整備されていること」では〈男性〉(22.5%)が〈女性〉(15.0%)より7.5ポイント高くなっている。「子育て・教育環境が充実していること」では〈女性〉(45.1%)が〈男性〉(37.7%)より7.4ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「健康でいきいきと暮らせること」では〈女性60～64歳〉が66.7%、〈男性70歳以上〉が62.7%と高くなっている。「高齢者や障害者が安心して暮らせること」では〈女性70歳以上〉が69.6%と高くなっている。「子育て・教育環境が充実していること」では〈女性30歳代〉が63.0%、〈女性20歳代〉が60.0%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]

(上位10項目)



職業別でみると、「高齢者や障害者が安心して暮らせること」では〈その他の無職・学生〉が60.1%と高くなっている。「若者が安定した仕事と収入を得られること」では〈農林漁業〉が59.3%と高くなっている。「子育て・教育環境が充実していること」では〈農林漁業〉が50.0%と高くなっている。「“とちぎ”のイメージが良くなり、知名度が上がること」では〈農林漁業〉が31.5%と高くなっている。「商業施設などが集積し、街に活気があること」では〈商工サービス業・自由業〉が30.2%と高くなっている。

居住環境別でみると、「健康でいきいきと暮らせること」では〈商店街〉が62.5%と高くなっている。「若者が安定した仕事と収入を得られること」では〈農山村〉が52.9%と高くなっている。

地域別でみると、「若者が安定した仕事と収入を得られること」では〈県北地域〉が55.6%と高くなっている。「県民が“とちぎ”に愛着や誇りを持つこと」では〈県央地域〉が33.7%と高くなっている。